

科目名称：	基礎教養Ⅰ（美術学科）	
担当者名：	加藤 みか	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>本演習では、コミュニケーション力や論理的な思考に着目し、大学で学ぶための知識・思考方法を演習形式で身につける。高校までの受動的な学び方を、能動的で自律的・自立的な学びへと転換し、社会への移行に役立てる。何に意識を向け、どのように人間関係を作るかを理解し、プレゼンテーションの基礎的な理論を身に付ける。さらに、社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を伸ばしていくことも目標としているため、体育祭等の課外行事で他者と協力することも積極的に奨める。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文献検索方法やメモの取り方など、自ら問題解決するための知識・情報を収集できる</li> <li>2. レポートや文章表現演習などで、知識や思考を可視化・文章化し、他者にわかりやすく説明できる</li> <li>3. プレゼンテーションに必要な基礎的な理論を習得し、実践に向け役立てる</li> </ol>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身につけている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)			50	50	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 アパレル企業 企画部門勤務	《経験年数1》 21年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
問題解決のための行動について	原因の探究や情報を収集し、解決方法を考える行動できる。	原因の探究や情報を収集し、解決方法を考える事が出来る	原因を探求や情報を収集する事が出来る	原因の探究や解決のための情報を収集する事が出来ない
苦手な人・考えが異なる他者とのかかわりについて	他者の立場や状況を把握し、協力して行動する事が出来る	他者の立場や状況を考える事が出来る	他者と行動する事が出来る	他者と行動する事が出来ない
知識や思考を他者に説明する	わかりやすく説明し、感動や納得をもたらす事が出来る	わかりやすく説明する事が出来る	わかりやすく説明するために、努力する事が出来る	わかりやすく説明できない
未経験な事柄や時事問題について	毎日、新聞を読み、その情報を利用する事が出来る	新聞などから情報を得、関心を持つ事が出来る	関心を持つよう努力する事が出来る	関心を持つ事が出来ない

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 大学で学ぶとは① ・ルーブリック自己評価 ・ブレインストーミング等のグループワークの説明	シラバスを参考に、テキストの必要部分を一通り読んでおく	120分
第2回 大学で学ぶとは② ・ノートテイキング ・15秒自己紹介	『大学での学び方』【6日目～9日目】を読み、演習を解く	90分
第3回 Unit 1 自己紹介からコミュニケーションへ …プレゼンテーションに慣れる	新聞記事を収集する・・・第9回で使用	20分
第4回 Unit 2 コミュニケーションスキル Unit 3 非言語的コミュニケーション	対談番組を見て、うなずき・あいづちを観察し、プリントに明記する	40分
第5回 図書室の利用(A組)・文章の書き方(B組)	読書履歴を確認し、好きな本を持ってくる	30分
第6回 図書室の利用(B組)・文章の書き方(A組)	『大学での学び方』【1日目～4日目】の演習を完成する	20分
第7回 ビブリオバトル	ビブリオバトルに向け資料作成	60分
第8回 Unit 4 アイデアを生み出す技術	Unit 4を読む・『大学での学び方』【8日目】を読み演習を解く	90分
第9回 情報の整理(新聞スクラップ)	第2回での記事(紙媒体)を持ってくる …10種類程度	20分
第10回 Unit 5 プレゼンテーションの構造	Unit 5を読む	60分
第11回 Unit 6 主張の裏づけかた	Unit 6を読む・『大学での学び方』【13日目】を読み、演習を解く	90分
第12回 Unit 7 文章とプレゼンテーションの相似性	Unit 7を読む・『大学での学び方』【12日目】を読み、演習を解く	90分
第13回 半年間の成果をプレゼンテーション1	プレゼンテーションの資料を準備する	90分
第14回 半年間の成果をプレゼンテーション2	プレゼンテーションの資料を準備する	20分
第15回 半年間の成果をプレゼンテーション3 ルーブリック自己評価	プレゼンテーションの資料を準備する	20分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、図書室を積極的に活用し、資料を集めること。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。  
提出課題50% 授業への積極的な関与および課外行事20% プレゼンテーションの内容20% 自己評価10%

#### 課題に対するフィードバック

授業内プリント、提出課題は評価後返却

#### 教科書・参考書

学生のための『プレゼンテーション・トレーニング』実教出版  
大学生・短大生のための『大学での学び方』旺文社